

会社説明会

～ 平成28年3月期 ～

Yamagata

Miyagi



平成28年6月17日

1.平成28年3月期決算の状況

① 損益の状況	…	1
② コア業務純益の増減要因	…	3
③ 貸出金の状況	…	4
④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況	…	5
⑤ 預かり資産の状況	…	6
⑥ 有価証券の状況	…	7
⑦ 各種利回り・利鞘の状況	…	8
⑧ 経費・経営効率化の状況	…	9
⑨ 金融再生法開示債権の状況	…	10
⑩ 自己資本比率の状況	…	11
⑪ R O E の状況	…	12
⑫ 平成29年3月期業績予想	…	13

2.両行における取組みについて

① 仙台銀行のトピックス	
～取引先の販路拡大に向けた本業支援～	… 14
～栃木銀行との連携～	… 15
～愛知銀行との連携～	… 16
～事業再生の取組み～	… 17
～震災復興への取組み～	… 18
② きらやか銀行のトピックス	
～本業支援の取組み～	… 19
～きらやか充年十色計画～	… 24

3.じもとホールディングスの取組みについて

① ビジネスマッチングの実績	… 26
② 本業支援戦略部が取り組んだ ビジネスマッチングの事例	… 27
③ 統合効果の発揮に向けて	… 28
④ じもとホールディングスの内部管理態勢	… 29

1. 平成28年3月期 決算の状況

① 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	27年3月期	28年3月期	前期比	増減率
連結経常収益	42,755	42,522	△ 233	△ 0.5
経常利益	6,751	5,283	△ 1,467	△ 21.7
親会社株主に帰属する当期純利益	5,986	4,889	△ 1,096	△ 18.3

- じもとホールディングスの連結経常収益は425億22百万円、経常利益は52億83百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億89百万円となりました。

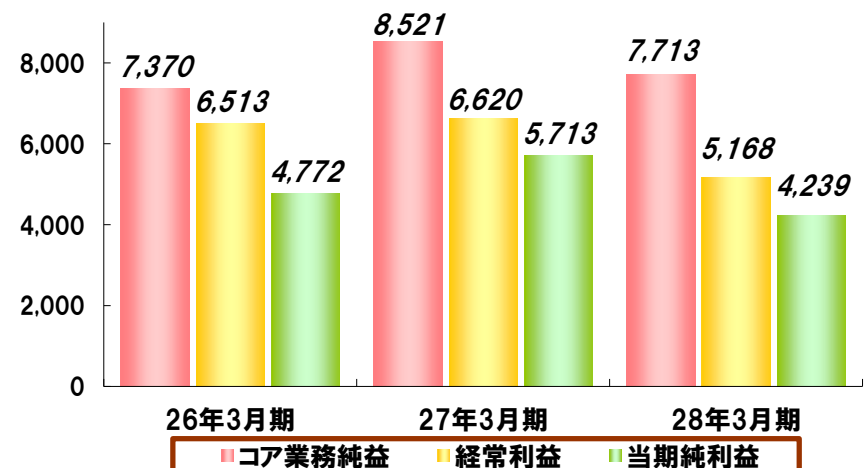
② 2行合算

(単位:百万円、%)

	27年3月期	28年3月期	前期比	増減率
経常収益	42,213	41,812	△ 400	△ 0.9
業務粗利益	34,889	32,604	△ 2,284	△ 6.5
資金利益	30,678	30,737	58	0.1
役務取引等利益	3,120	2,747	△ 372	△ 11.9
その他業務利益	1,090	△ 880	△ 1,971	△ 180.8
うち国債等債券損益	1,077	△ 899	△ 1,976	△ 183.4
経費(除く臨時処理分)	25,290	25,789	499	1.9
うち人件費	12,751	12,996	244	1.9
うち物件費	10,946	11,030	83	0.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	9,598	6,814	△ 2,784	△ 29.0
コア業務純益	8,521	7,713	△ 807	△ 9.4
一般貸倒引当金繰入額	△ 611	△ 816	△ 204	-
業務純益	10,210	7,630	△ 2,579	△ 25.2
臨時損益	△ 3,590	△ 2,462	1,127	-
うち不良債権処理額	2,487	3,086	599	24.0
うち個別貸倒引当金繰入額	1,930	2,487	556	28.8
うち株式等関係損益	391	1,260	868	221.6
経常利益	6,620	5,168	△ 1,451	△ 21.9
特別損益	△ 56	△ 297	△ 241	-
当期純利益	5,713	4,239	△ 1,473	△ 25.7
与信関係費用	1,820	2,241	421	23.1

- 2行合算の経常収益は、前年同期比4億円減少の418億12百万円(増減率△0.9%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費が増加したことから、前年同期比8億7百万円減少の77億13百万円(増減率△9.4%)となりました。
- 経常利益は前年同期比14億51百万円減少の51億68百万円、当期純利益は前年同期比14億73百万円減少の42億39百万円となりました。

(単位:百万円)



① 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	25,728	24,821	△ 906	△ 3.5
業務粗利益	21,096	20,247	△ 849	△ 4.0
資金利益	18,876	18,565	△ 311	△ 1.6
役務取引等利益	1,614	1,389	△ 224	△ 13.8
その他業務利益	606	292	△ 314	△ 51.8
うち国債等債券損益	597	279	△ 317	△ 53.2
経費(除く臨時処理分)	14,967	15,419	451	3.0
うち人件費	7,918	8,000	81	1.0
うち物件費	6,152	6,405	253	4.1
業務純益(一般貸倒繰入前)	6,128	4,828	△ 1,300	△ 21.2
コア業務純益	5,531	4,548	△ 983	△ 17.7
一般貸倒引当金繰入額	△ 87	172	260	-
業務純益	6,216	4,655	△ 1,560	△ 25.1
臨時損益	△ 2,823	△ 1,918	905	-
うち不良債権処理額	1,658	1,432	△ 226	△ 13.6
うち個別貸倒引当金繰入額	1,307	1,145	△ 162	△ 12.4
うち株式等関係損益	165	138	△ 26	△ 16.2
経常利益	3,392	2,737	△ 655	△ 19.3
特別損益	△ 17	△ 214	△ 196	-
当期純利益	2,337	2,124	△ 212	△ 9.1
与信関係費用	1,567	1,604	36	2.3

- 経常収益は、有価証券利息配当金が増加したものの、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比9億6百万円減少の248億21百万円(増減率△3.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少し、また、システム移行に伴う費用等により物件費が増加したことなどから、前年同期比9億83百万円減少の45億48百万円(増減率△17.7%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比36百万円増加の16億4百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比6億55百万円減少の27億37百万円、当期純利益は前年同期比2億12百万円減少の21億24百万円となりました。

④ 仙台銀行単体

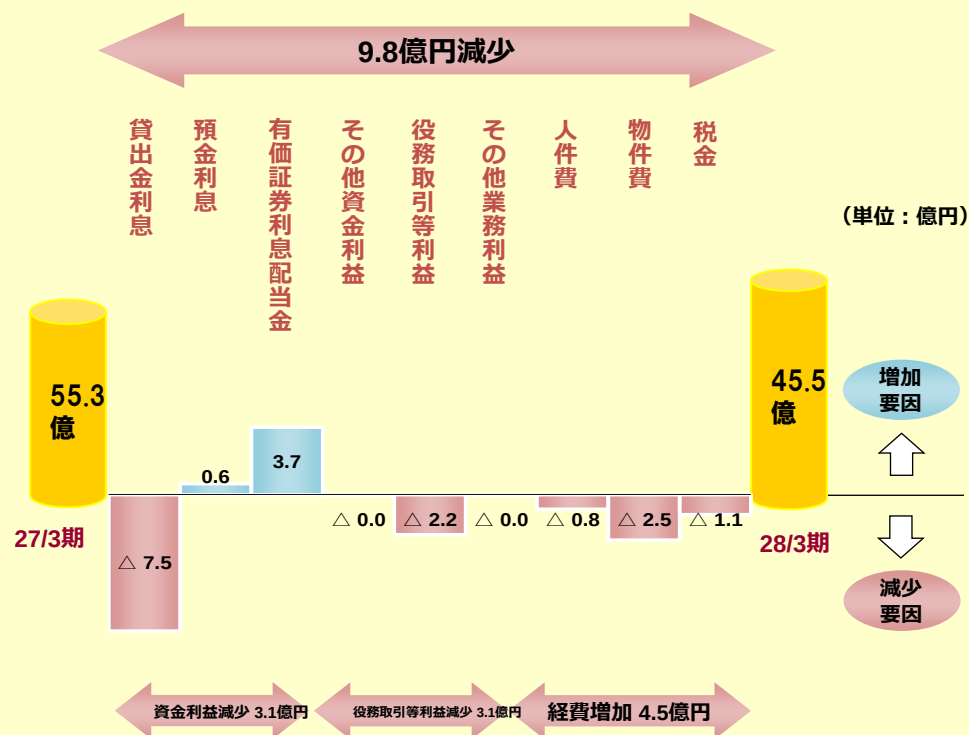
(単位:百万円、%)

	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	16,485	16,991	506	3.0
業務粗利益	13,792	12,356	△ 1,435	△ 10.4
資金利益	11,802	12,172	370	3.1
役務取引等利益	1,506	1,357	△ 148	△ 9.8
その他業務利益	484	△ 1,172	△ 1,657	△ 342.2
うち国債等債券損益	480	△ 1,178	△ 1,658	△ 345.3
経費(除く臨時処理分)	10,322	10,370	47	0.4
うち人件費	4,833	4,995	162	3.3
うち物件費	4,794	4,625	△ 169	△ 3.5
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,469	1,986	△ 1,483	△ 42.7
コア業務純益	2,989	3,164	175	5.8
一般貸倒引当金繰入額	△ 524	△ 988	△ 464	-
業務純益	3,994	2,975	△ 1,018	△ 25.5
臨時損益	△ 766	△ 543	222	-
うち不良債権処理額	828	1,653	825	99.5
うち個別貸倒引当金繰入額	623	1,341	718	115.3
うち株式等関係損益	226	1,122	895	395.3
経常利益	3,228	2,431	△ 796	△ 24.6
特別損益	△ 38	△ 83	△ 44	-
当期純利益	3,376	2,115	△ 1,261	△ 37.3
与信関係費用	252	637	385	152.6

- 経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金、株式等売却益が増加したことから、前年同期比5億6百万円増加の169億91百万円(増減率3.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことなどから、前年同期比1億75百万円増加の31億64百万円(増減率5.8%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の増加などにより前年同期比3億85百万円増加の6億37百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億96百万円減少の24億31百万円、当期純利益は前年同期比12億61百万円減少の21億15百万円となりました。

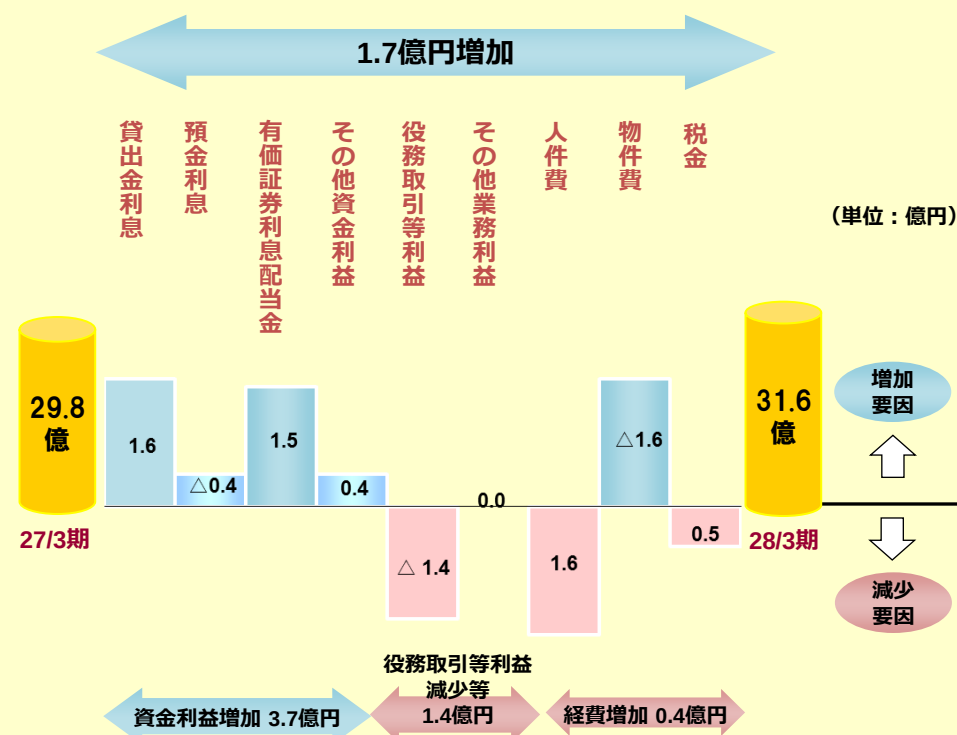
② コア業務純益の増減要因

① きらやか銀行



資金利益や役務取引等利益が減少し、また、システム移行に伴う費用等により物件費が増加したことなどから、コア業務純益は前年同期比9億83百万円減少となりました。

② 仙台銀行

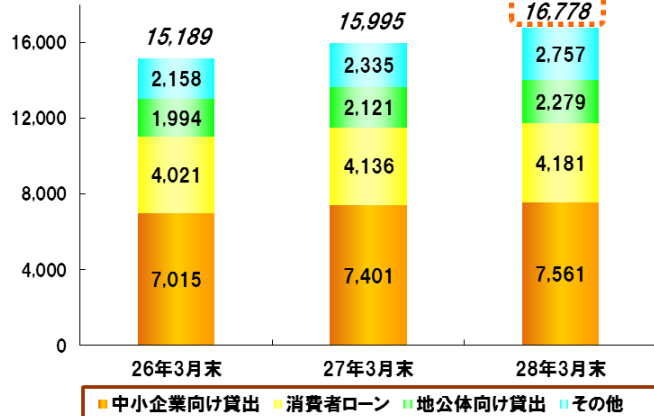


資金利益（貸出金利息及び有価証券利息配当金）が増加したことや物件費の削減などによりコア業務純益は前年同期比1億75百万円増加となりました。

③ 貸出金の状況

① 2行合算

(単位:億円)



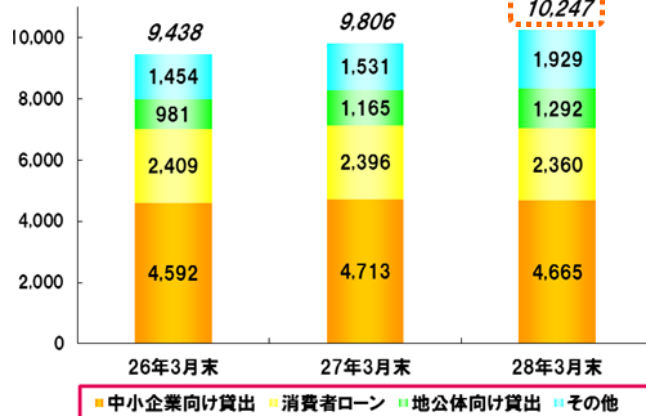
(単位:百万円、%)

	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,599,527	1,677,897	78,369	4.9
うち中小企業向け貸出残高	740,175	756,125	15,950	2.1
うち消費者ローン	413,636	418,110	4,473	1.0
うち住宅ローン	386,158	384,806	△ 1,351	△ 0.3
うち地方公共団体向け貸出	212,122	227,951	15,829	7.4

- 2行合算の貸出金残高は、27年3月末比783億69百万円増加の1兆6,778億97百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



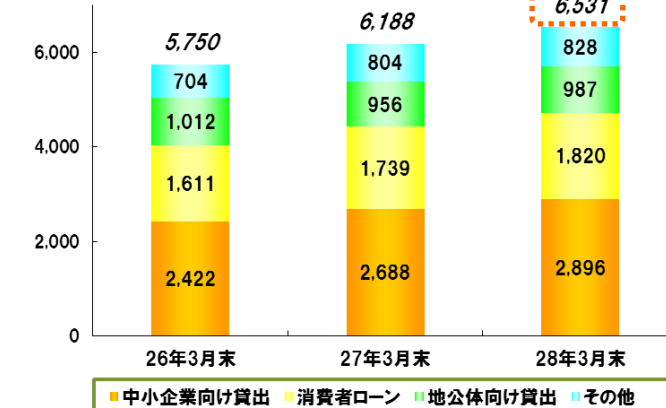
(単位:百万円、%)

	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	980,658	1,024,711	44,052	4.4
うち中小企業向け貸出残高	471,322	466,510	△ 4,812	△ 1.0
うち消費者ローン	239,660	236,089	△ 3,570	△ 1.4
うち住宅ローン	227,431	223,799	△ 3,631	△ 1.6
うち地方公共団体向け貸出	116,522	129,209	12,687	10.8

- 貸出金残高は、27年3月末比440億52百万円増加の1兆247億11百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、27年3月末比48億12百万円減少の4,665億10百万円となりました。【統計上の企業規模区分の見直し有】
- 消費者ローンは、住宅ローンの減少により、27年3月末比35億70百万円減少の2,360億89百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、27年3月末比126億87百万円増加の1,292億9百万円となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

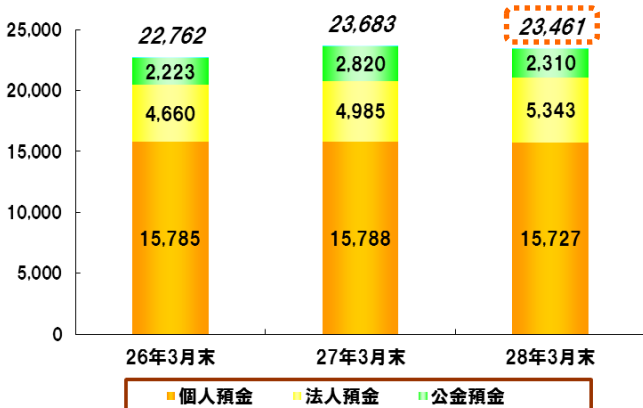
	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	618,869	653,186	34,316	5.5
うち中小企業向け貸出残高	268,853	289,615	20,762	7.7
うち消費者ローン	173,976	182,020	8,044	4.6
うち住宅ローン	158,726	161,007	2,280	1.4
うち地方公共団体向け貸出	95,600	98,742	3,142	3.2

- 貸出金残高は、27年3月末比343億16百万円増加の6,531億86百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復興に係る様々な資金需要への対応により、27年3月末比207億62百万円増加の2,896億15百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により、27年3月末比80億44百万円増加の1,820億20百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、27年3月末比31億42百万円増加の987億42百万円となりました。

④預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

(単位:億円)



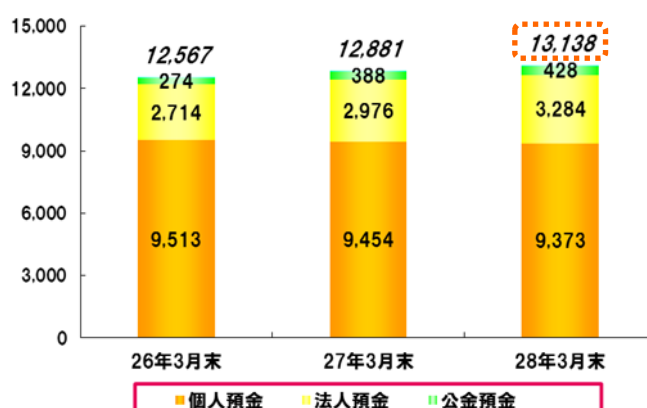
(単位:百万円、%)

	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,368,310	2,346,118	△ 22,192	△ 0.9
うち個人預金	1,578,840	1,572,741	△ 6,099	△ 0.3
うち法人預金	498,576	534,305	35,729	7.1
うち公金預金	282,041	231,005	△ 51,036	△ 18.0

- 2行合算の預金残高は、27年3月末比221億92百万円減少の2兆3,461億18百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



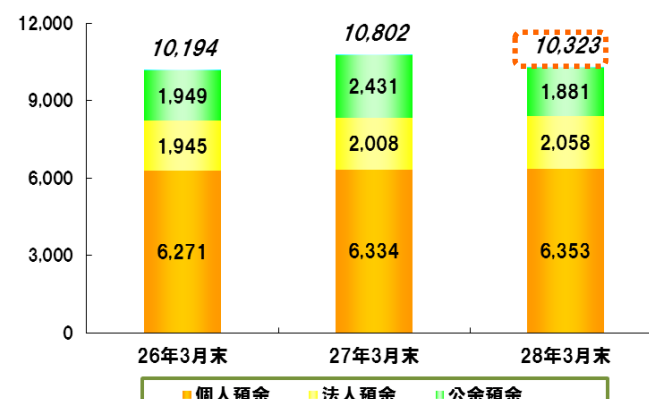
(単位:百万円、%)

	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,288,109	1,313,818	25,708	1.9
うち個人預金	945,401	937,392	△ 8,009	△ 0.8
うち法人預金	297,690	328,487	30,797	10.3
うち公金預金	38,878	42,808	3,930	10.1

- 預金残高は、法人預金・公金預金が増加したことにより、27年3月末比257億8百万円増加の1兆3,138億18百万円となりました。
- 個人預金は、個人定期預金が減少したことなどにより27年3月末比80億9百万円減少の9,373億92百万円となりました。
- 法人預金は、流動性・定期性預金ともに大幅に増加したことなどから、27年3月末比307億97百万円増加の3,284億87百万円となりました。
- 公金預金は、27年3月末比39億30百万円増加の428億8百万円となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

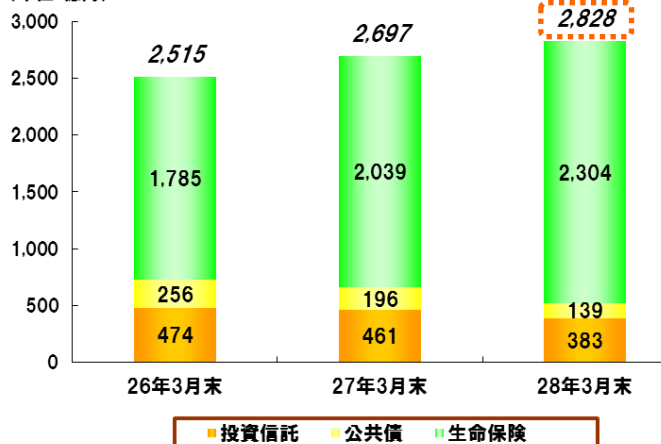
	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,080,201	1,032,300	△ 47,901	△ 4.4
うち個人預金	633,438	635,349	1,910	0.3
うち法人預金	200,885	205,817	4,931	2.4
うち公金預金	243,163	188,196	△ 54,966	△ 22.6

- 預金残高は、公金預金の減少により、27年3月末比479億1百万円減少の1兆323億円となりました。
- 個人預金は、27年3月末比19億10百万円増加の6,353億49百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、27年3月末比49億31百万円増加の2,058億17百万円となりました。
- 公金預金は、震災復興に係る譲渡性預金の払出しにより、27年3月末比549億66百万円減少の1,881億96百万円となりました。

⑤ 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

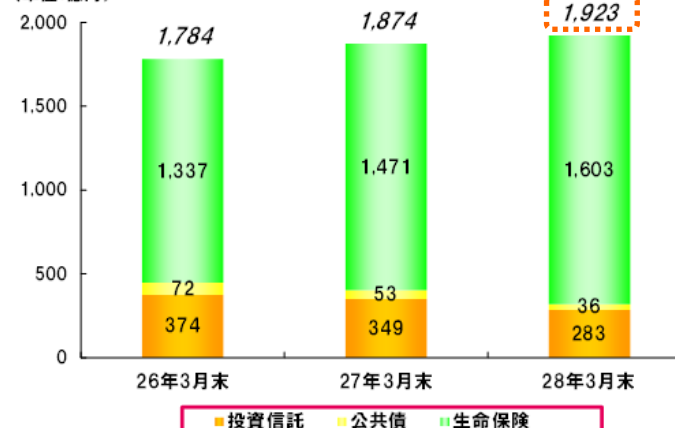
	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	269,740	282,843	13,102	4.8
うち投資信託	46,148	38,370	△ 7,778	△ 16.8
うち公共債(国債等)	19,652	13,980	△ 5,671	△ 28.8
うち生命保険	203,939	230,492	26,552	13.0

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 2行合算の預かり資産残高は、27年3月末比131億2百万円増加の2,828億43百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

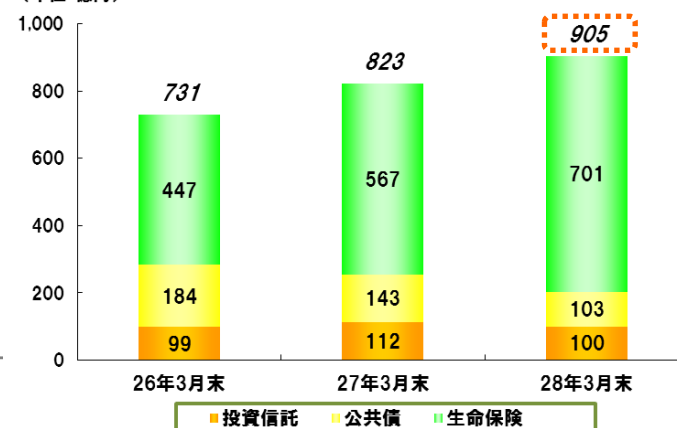
	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	187,403	192,314	4,910	2.6
うち投資信託	34,931	28,350	△ 6,581	△ 18.8
うち公共債(国債等)	5,326	3,634	△ 1,692	△ 31.7
うち生命保険	147,145	160,329	13,183	8.9

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 預かり資産残高は、27年3月末比49億10百万円増加の1,923億14百万円となりました。
- 投資信託は、27年3月末比65億81百万円減少の283億50百万円となりました。
- 公共債は、27年3月末比16億92百万円減少の36億34百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、販売額が増加したことで、27年3月末比131億83百万円増加の1,603億29百万円となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

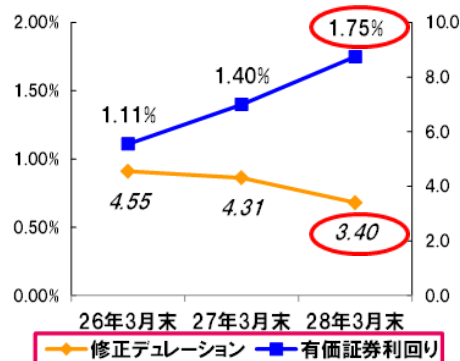
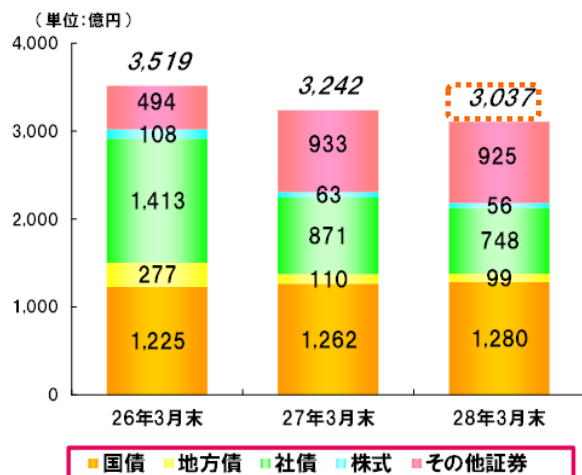
	27年3月末	28年3月末	27年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	82,336	90,528	8,191	9.9
うち投資信託	11,217	10,020	△ 1,197	△ 10.6
うち公共債(国債等)	14,325	10,346	△ 3,979	△ 27.7
うち生命保険	56,793	70,162	13,368	23.5

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 預かり資産残高は、27年3月末比81億91百万円増加の905億28百万円となりました。
- 投資信託は、27年3月末比11億97百万円減少の100億20百万円となりました。
- 公共債は、27年3月末比39億79百万円減少の103億46百万円となりました。
- 生命保険は、お客様の資金運用ニーズへの対応により、27年3月末比133億68百万円増加の701億62百万円となりました。

⑥ 有価証券の状況

① きらやか銀行

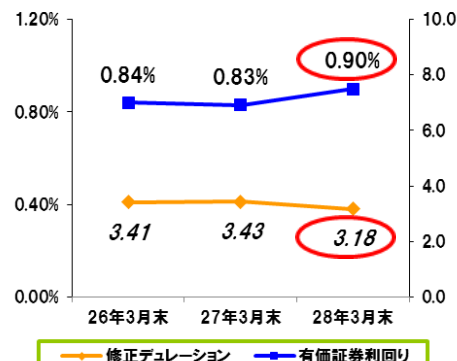
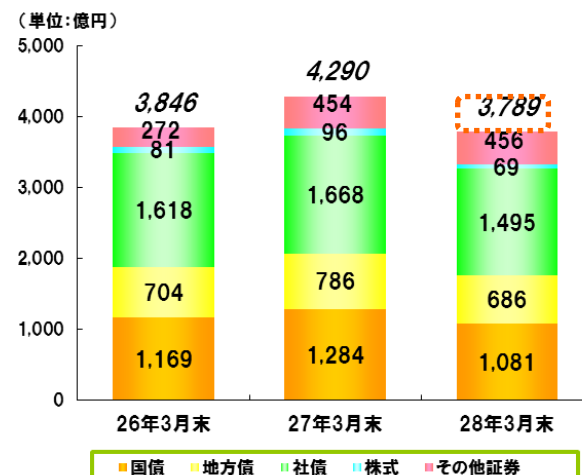


その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	27年 3月末	28年 3月末	27年 3月末比
その他有価証券	7,488	3,153	△ 4,334
株式	1,487	891	△ 596
債券	3,399	4,657	1,257
その他	2,601	△ 2,395	△ 4,996

- 有価証券残高は、ポートフォリオの見直しを実施したことにより、27年3月末比204億62百万円減少の3,037億71百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の低迷に伴い投資信託の評価損が増加したことにより27年3月末比43億34百万円減少し、31億53百万円の評価益となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 3.40（前年比△0.91）

② 仙台銀行



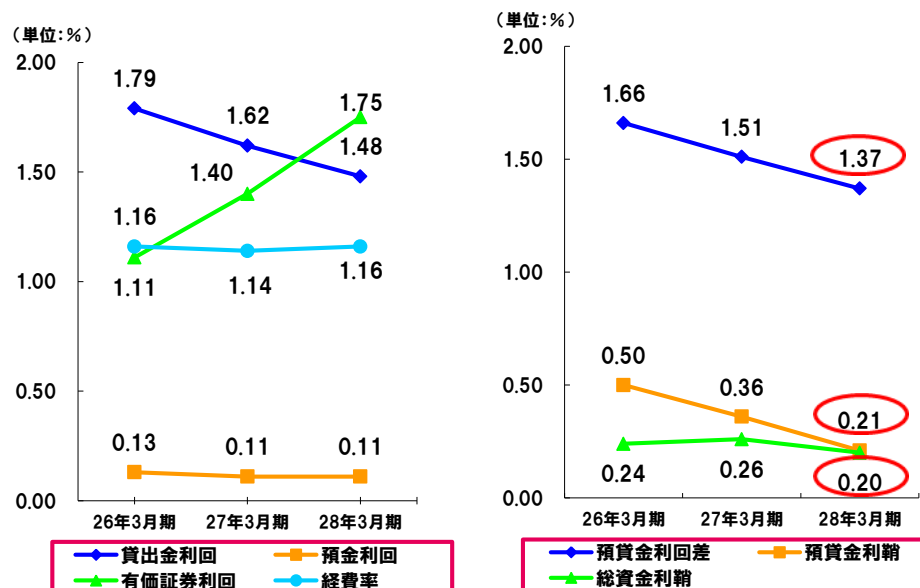
その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	27年 3月末	28年 3月末	27年 3月末比
その他有価証券	8,948	6,039	△ 2,908
株式	4,406	1,780	△ 2,626
債券	4,286	5,364	1,078
その他	255	△ 1,106	△ 1,361

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら効率的な資金運用に努めたことから、27年3月末比501億77百万円減少の3,789億2百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金融市場の変動の影響を受け27年3月末比29億8百万円減少し、60億39百万円の評価益となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 3.18（前年比△0.25）

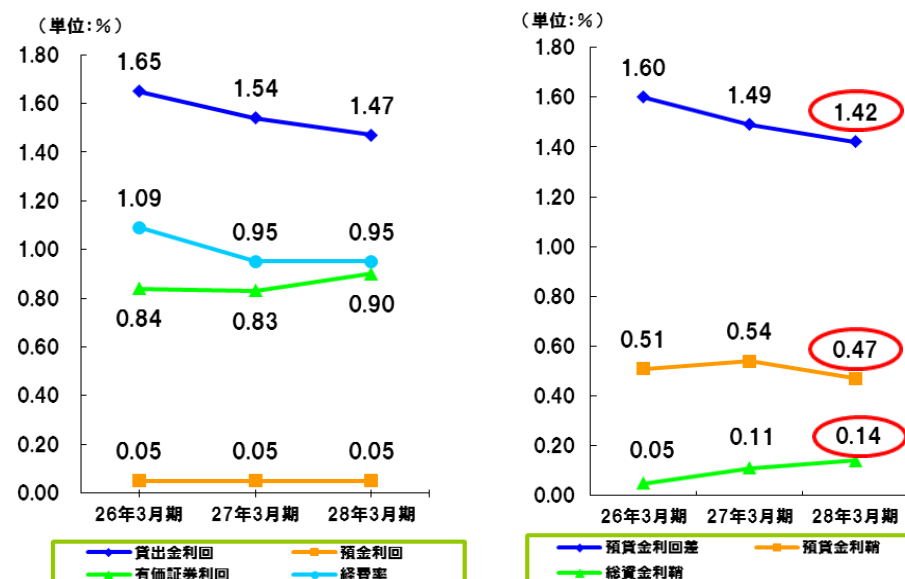
⑦各種利回り・利鞘の状況

① きらやか銀行



- 預貸金利回差 1.37% (前年同期比 0.14p低下)
市場金利の低下により、貸出金利回りが低下しました。預金利回りが前年同期並みとなり、貸出金利回り低下分 (0.14p) をカバーできなかったことから、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.21% (前年同期比 0.15p低下)
預貸金利回差が縮小したことにより、前年同期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.20% (前年同期比 0.06p低下)
資金運用利回りが0.06p低下したことから、前年同期比マイナスとなりました。

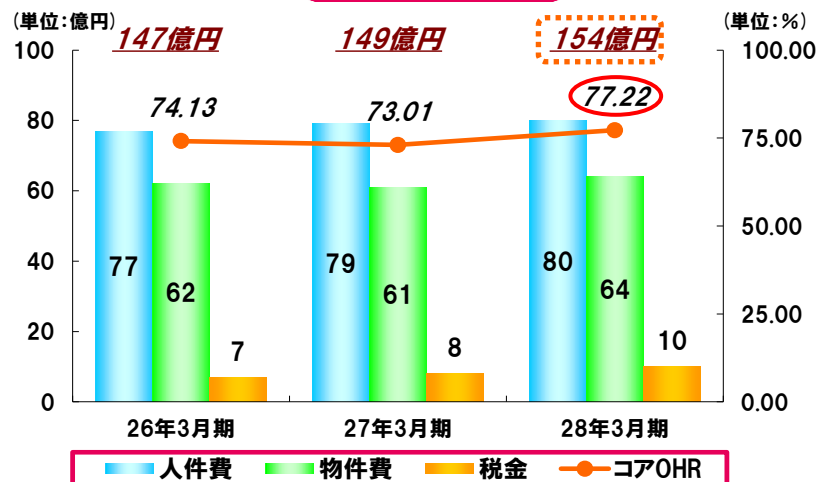
② 仙台銀行



- 預貸金利回差 1.42% (前年同期比 0.07p低下)
市場金利の低下により、貸出金利回りが低下しました。預金利回は前年同期水準となったことから、貸出金利回りが低下 (0.07p) した分、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.47% (前年同期比 0.07p低下)
経費が前年と同水準となったものの、預貸金利回差が縮小したことから、前年同期比 マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.14% (前年同期比 0.03p上昇)
資金調達原価が前年と同水準となったことに加え、資金運用利回りが0.03p上昇したことから、前年同期比プラスとなりました。

⑧経費・経営効率化の状況

① きらやか銀行



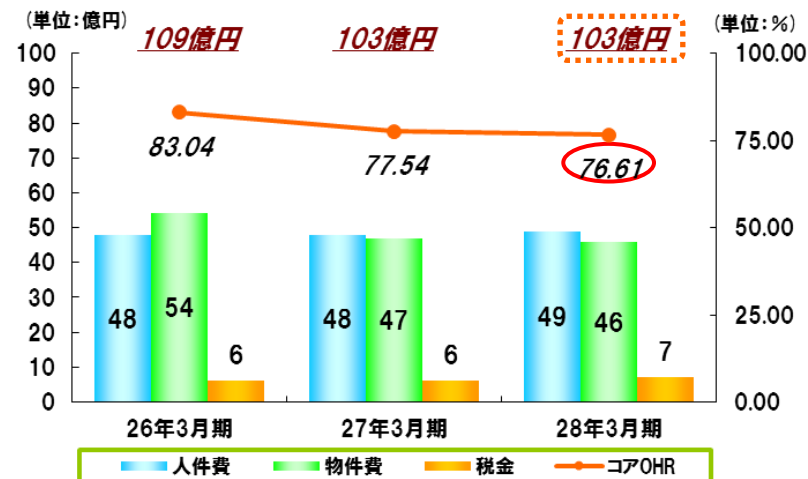
(単位:百万円)

	26年3月末	27年3月末	28年3月末
一人当たり預金	1,331	1,336	1,361
一人当たり貸出金	999	1,017	1,061
一店舗当たり預金	16,112	16,514	18,247
一店舗当たり貸出金	12,100	12,572	14,232
店舗数(店)	78	78	72
行員数(人)	944	964	965

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、システム移行に関連して物件費や人件費が増加したことなどから、前年同期比4億56百万円増加の154億19百万円となりました。
- コアOHRは経費が増加し、コア業務粗利益も減少したため、前年同期比4.21ポイント上昇し77.22%となりました。

② 仙台銀行



(単位:百万円)

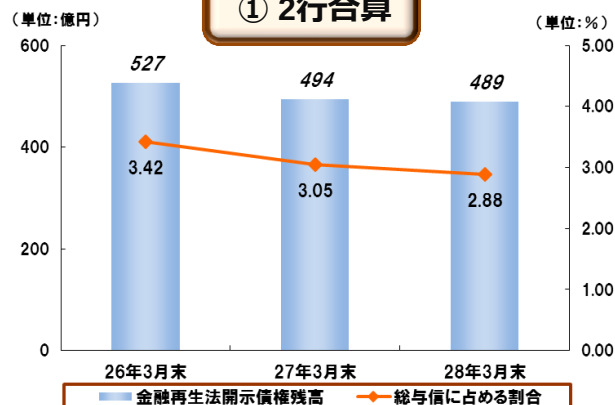
	26年3月末	27年3月末	28年3月末
一人当たり預金	1,417	1,508	1,466
一人当たり貸出金	799	864	927
一店舗当たり預金	16,712	17,708	16,922
一店舗当たり貸出金	9,427	10,145	10,707
店舗数(店)	61	61	61
行員数(人)	719	716	704

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費の削減に努めたものの、人件費の増加により前年同期比47百万円増加の103億70百万円となりました。
- コアOHRは経費が前年と同水準であったものの、コア業務粗利益が増加したため、前年同期比0.93ポイント低下の76.61%となりました。

⑨金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

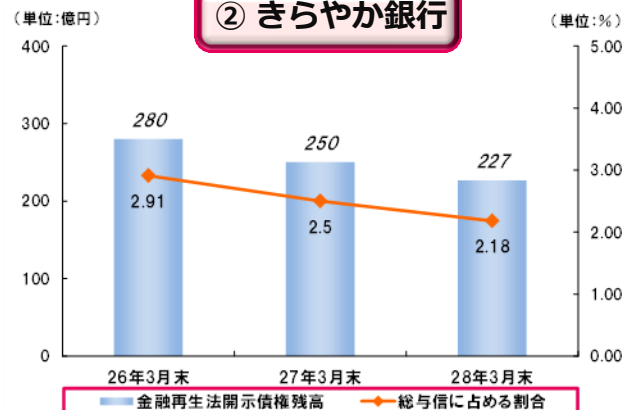
	27年3月末	28年3月末	27年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,234	6,933	2,699
危険債権	40,826	37,266	△ 3,560
要管理債権	4,435	4,715	280
合計 (A)	49,496	48,915	△ 580
正常債権	1,570,381	1,649,281	78,900
総与信額 (B)	1,619,877	1,698,197	78,320
(A / B)	3.05	2.88	△ 0.17

②金融再生法開示債権の保全状況(28年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,933	6,933	3,342	3,591	100.00
危険債権	37,266	34,035	27,305	6,730	91.33
要管理債権	4,715	1,253	851	401	26.58
合計	48,915	42,223	31,499	10,723	86.31

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、27年3月末比5億80百万円減少の489億15百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、27年3月末比0.17ポイント低下の2.88%となりました。
- 金融再生開示債権の保全率は86.31%となりました。

② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

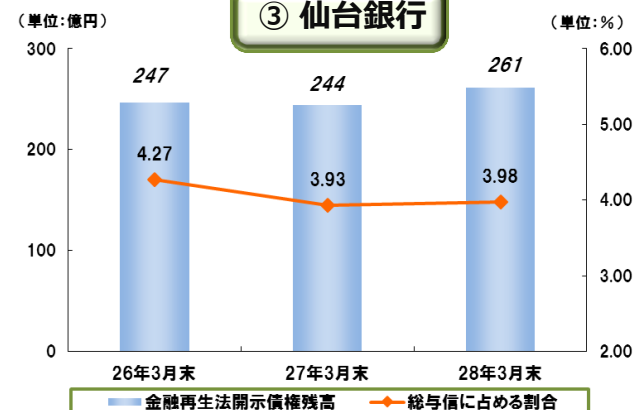
	27年3月末	28年3月末	27年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,688	5,585	2,896
危険債権	19,253	14,121	△ 5,132
要管理債権	3,094	3,013	△ 81
合計 (A)	25,036	22,719	△ 2,316
正常債権	972,471	1,018,684	46,213
総与信額 (B)	997,508	1,041,404	43,896
(A / B)	2.50	2.18	△ 0.32

②金融再生法開示債権の保全状況(28年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,585	5,585	2,459	3,125	100.00
危険債権	14,121	11,707	9,377	2,329	82.90
要管理債権	3,013	537	215	321	17.84
合計	22,719	17,830	12,053	5,777	78.47

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、27年3月末比23億16百万円減少の227億19百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、27年3月末比0.32ポイント低下し2.18%となりました。
- 金融再生開示債権の保全率は78.47%となりました。

③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	27年3月末	28年3月末	27年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,545	1,348	△ 197
危険債権	21,573	23,145	1,572
要管理債権	1,340	1,702	361
合計 (A)	24,459	26,196	1,736
正常債権	597,910	630,597	32,686
総与信額 (B)	622,369	656,793	34,423
(A / B)	3.93	3.98	0.05

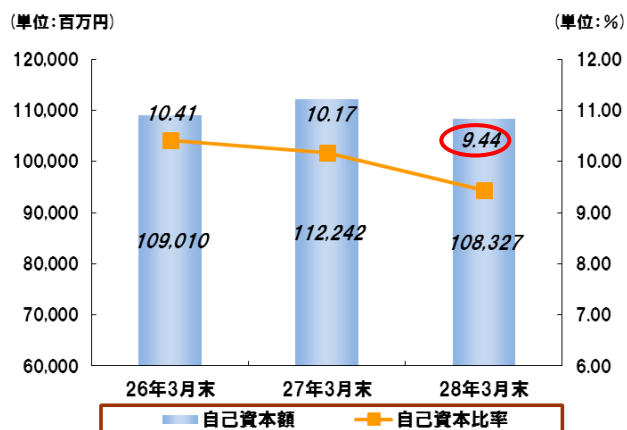
②金融再生法開示債権の保全状況(28年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,348	1,348	882	465	100.00
危険債権	23,145	22,328	17,927	4,400	96.47
要管理債権	1,702	715	635	80	42.05
合計	26,196	24,392	19,446	4,946	93.11

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、一部の企業のランクダウン等により、27年3月末比17億36百万円増加の261億96百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、27年3月末比0.05ポイント上昇の3.98%となりました。
- 金融再生開示債権の保全率は93.11%となりました。

⑩ 自己資本比率の状況

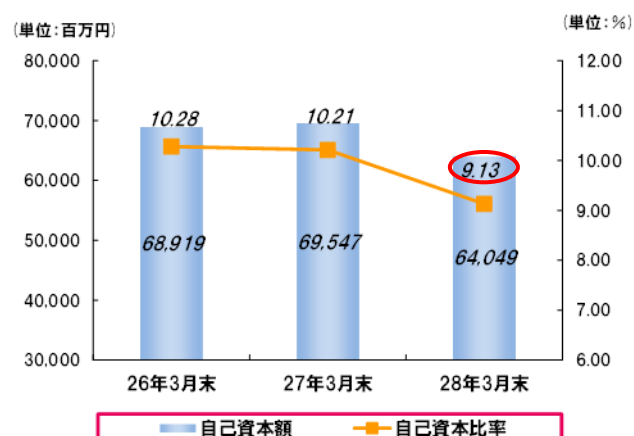
① じもとホールディングス連結



(単位:%)

	26年 3月末	27年 3月末	28年 3月末	27年 3月末比	増減率
連結自己資本比率	10.41	10.17	9.44	△ 0.73	△ 7.1

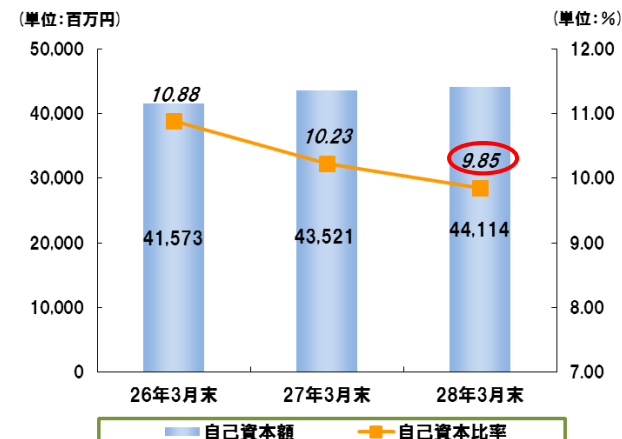
② きらやか銀行



(単位:%)

	26年 3月末	27年 3月末	28年 3月末	27年 3月末比	増減率
自己資本比率[単体]	10.28	10.21	9.13	△ 1.08	△ 10.6
自己資本比率[連結]	10.32	10.22	9.16	△ 1.06	△ 10.4

③ 仙台銀行



(単位:%)

	26年 3月末	27年 3月末	28年 3月末	27年 3月末比	増減率
自己資本比率	10.88	10.23	9.85	△ 0.38	△ 3.7

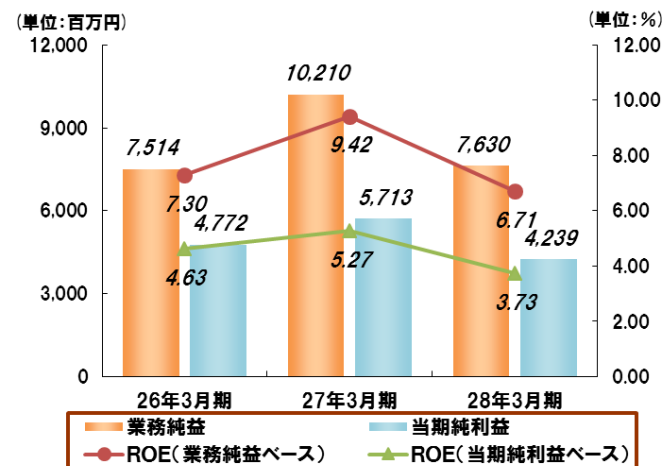
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は9.44%となりました。

- 単体の自己資本比率は、劣後特約付社債等を期限前に償還したことで自己資本額（分子）が減少。また、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、27年3月末比1.08ポイント低下の9.13%となりました。
- 連結の自己資本比率は27年3月末比1.06ポイント低下の9.16%となりました。

- 自己資本比率は、当期純利益を21億15百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、27年3月末比0.38ポイント低下の9.85%となりました。

⑪ R O E の状況

① 2行合算

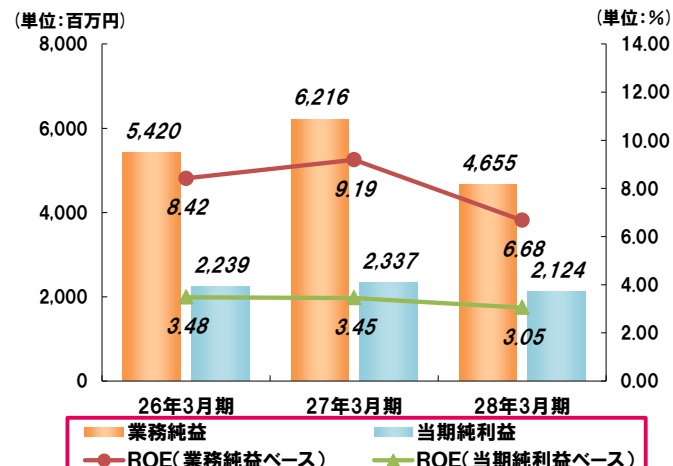


(単位:%)

		27年 3月期	28年 3月期	27年 3月期比
ROE	業務純益ベース	9.42	6.71	△2.71
	当期純利益ベース	5.27	3.73	△1.54

- 28年3月期の2行合算のROE
業務純益ベース 6.71% (前年同期比△2.71p)
当期純利益ベース 3.73% (前年同期比△1.54p)

② きらやか銀行

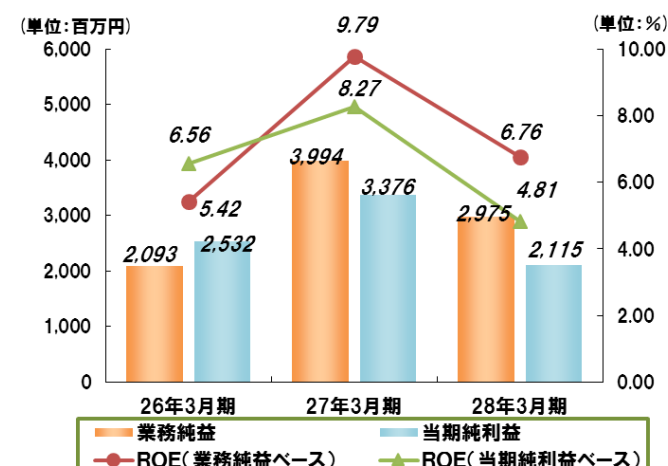


(単位:%)

		27年 3月期	28年 3月期	27年 3月期比
ROE	業務純益ベース	9.19	6.68	△2.51
	当期純利益ベース	3.45	3.05	△0.40

- 28年3月期のきらやか銀行のROE
業務純益ベース 6.68% (前年同期比△2.51p)
当期純利益ベース 3.05% (前年同期比△0.40p)

③ 仙台銀行



(単位:%)

		27年 3月期	28年 3月期	27年 3月期比
ROE	業務純益ベース	9.79	6.76	△3.03
	当期純利益ベース	8.27	4.81	△3.46

- 28年3月期の仙台銀行のROE
業務純益ベース 6.76% (前年同期比△3.03p)
当期純利益ベース 4.81% (前年同期比△3.46p)

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位:百万円)

	29年3月期	中間期	(参考) 28年3月期
経常利益	3,100	1,000	5,283
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,500	700	4,889

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成28年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

- じもとホールディングスの平成29年3月期の連結業績予想は、経常利益31億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成28年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、平成29年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

	29年3月期	中間期	(参考) 28年3月期
経常利益	2,300	700	2,737
当期純利益	2,000	500	2,124

仙台銀行

(単位:百万円)

	29年3月期	中間期	(参考) 28年3月期
経常利益	1,200	500	2,431
当期純利益	1,000	400	2,115

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益23億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益12億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

2. 両行における取組みについて

<震災5年目> 売上の状況

県内55%の企業が震災前の
売上水準に達していない

特に水産・食品加工業者の34%は
震災前の5割以下の売上に

被災企業の経営課題

1. 人材の確保・育成 (28.6%)

**2. 販路の確保・開拓
(24.3%)**

3. 資金繰り (13.9%)

4. 原材料価格の高騰 (13.1%)

グループ補助金交付先アンケート調査
(東北経済産業局調)

仙台銀行の本業支援の進化・発展

平成27年度の支援実績

本業支援

販路拡大支援件数

1,226件

本業支援を **NO.1** ☆ **ONLY.1** へ

○宮城と山形をつなぐビジネス マッチング

○外部機関・他行との連携による販路拡大

○事業再生（経営サポート）の取組み

栃木銀行「商談会・販売会」による販路拡大

■ みやぎ × とちぎ うまいもん祭 in 宇都宮

(平成28年3月19日 宇都宮市バンバひろば 参加企業11社 お客様3,000名)

取引先 **6社**が参加

栃木県内の企業 5社と**14商談**を実施

うち 成約 **3件**、商談継続**10件!!**

参加企業の声

- ・ 震災前に取引があった先と取引が復活できる見通しとなった。
- ・ 商品は完売した。関東圏への販路拡大につながった。
- ・ 水産加工品へのニーズが高い顧客へ自社商品をPRできた。



愛知銀行ビジネス商談会での販路拡大

■ 第17回愛銀ビジネス商談会
(平成28年2月3日 名古屋国際会議場 参加企業648社)

取引先**9社**が参加、**30商談**を実施
(うち製造業6社、食品加工業2社参加)



参加企業の声

- ・「早速、数社から見積書の依頼を受けた」
- ・「製造業が盛んな愛知県の企業とつながることができた」
- ・「当社商品のニーズが愛知県にもあることが分かった」

<事前マッチング方式>

事前にニーズを聴取し商談先を決定!!
ミスマッチがなく、確実に商談を実施!!

商談継続**22件!!**

その他の商談会・
販売会への参加提案



■ 宮城の食材応援 個別商談会



■ 栗原・登米ビジネスマッチング in 栗原



■ 復興支援マルシェ in 三井住友海上

事業再生（経営サポート）の取組み



- ・長年地域に根ざしたホテル
- ・地元では幅広く認知されている。

A社【ホテル・介護福祉業】

問題点

- ① 計数管理が不十分
- ② 営業活動が非効率的
- ③ 設備の老朽化

“売上低迷による経営悪化”

本業支援

事業再生（経営改善サポート）の取組みを開始、毎週1回の訪問を行う。

- ① 出向者としてホテル業専門家を派遣。
- ② インターネットによる宿泊等の予約機能の導入を提案。
- ③ ホテル内施設を活用したスポーツイベントを企画。
- ④ 税理士・会計士等の斡旋・紹介。
- ⑤ 老朽化した設備、車両の更新等に係る支援。

多様なノウハウを活用

専門家集団等による
高度化案件支援実績

（平成27年下期実績）

■ 事業承継支援

15 件

■ M&A支援

10 件

■ 経営改善支援

22 件

（よろず支援拠点連携）

歌津支店

南三陸町（平成28年4月18日オープン）



〇お客様の声
銀行店舗の「再開」と町内の人達との「再会」は非常にうれしい。みんなで待ち望んでいました！



津波により住民が集う集会所が全壊。店舗の1階、2階の応接室・会議室を住民の憩いの場や集会所として無料開放。

荒井支店・南小泉支店

仙台市荒井西地区（平成28年5月16日オープン）



仙台市荒井西地区は、防災集団移転促進事業により被災者の移転が更に本格化。復興と開発の拠点として新たな町づくりに貢献！



オープン当日は、すずめ踊りを披露。多くのお客様にご来店をいただき賑わいました。

女川駅前出張所

復興支援！平成29年春オープン予定！！



**復興仮設商店街から
女川駅前商業エリアに移転!!**

女川町の復興・町づくりを支援!!



第4次中期経営計画(平成27年4月～)の基本理念

“本気の本業支援” (= 『お客様から真に喜ばれる』 本業支援)

「お取引企業の喜び」+「そこで働く社員の皆様の喜び」

これが「きらやかの **“想い”**」なんです。

より多くのお客さまと向き合い、より良い提案を行う

そのために・・・

営業体制の刷新(平成27年10月～)

1. 4倍 ※H28.4.1現在(対H27.9)

①中小企業のお客さまへ訪問する行員(= **“法人力”**)の増強

- 店舗統廃合(6営業店の統合、2営業店の業態変更)
- 店質の設定
- 山形法人グループ、庄内法人グループの新設

②より**高度な提案**

- 本業支援部門と中小企業融資部門の融合
- 本業支援・中小企業融資・職域取引推進の一体化
- 戦略チーム(専門的知識を持ったスペシャリスト集団)の増強

きらやか銀行の

本業支援

- 全行員による組織的・継続的（H21.10～）活動
- 専門家集団による高度な本業支援

平成27年度の取組状況

お客様の事業ニーズ件数	<u>2,192</u> 件
本業支援成約件数	<u>1,569</u> 件
うち販路拡大件数	<u>661</u> 件

本業支援(販路拡大)による取引先の売上増加額

金額 18 億円

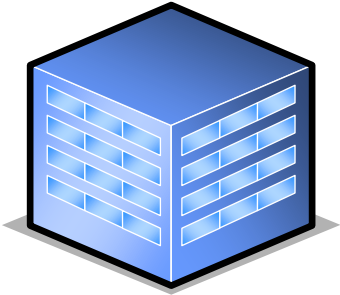
※調査対象：平成27年度上期に本業支援(販路拡大) が成約した先
※調査期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

専門家集団・戦略チームの活用、高度化案件

M & A・事業承継	52件
生産性向上・社員研修	11件
補助金申請	33件
	金額 2.9億円

戦略チームにおけるMBOスキームの構築

A社



- ・卸売業
- ・従業員:20人
- ・株主:3名(社長、元役員2人(創業者))
- ・純資産3億円

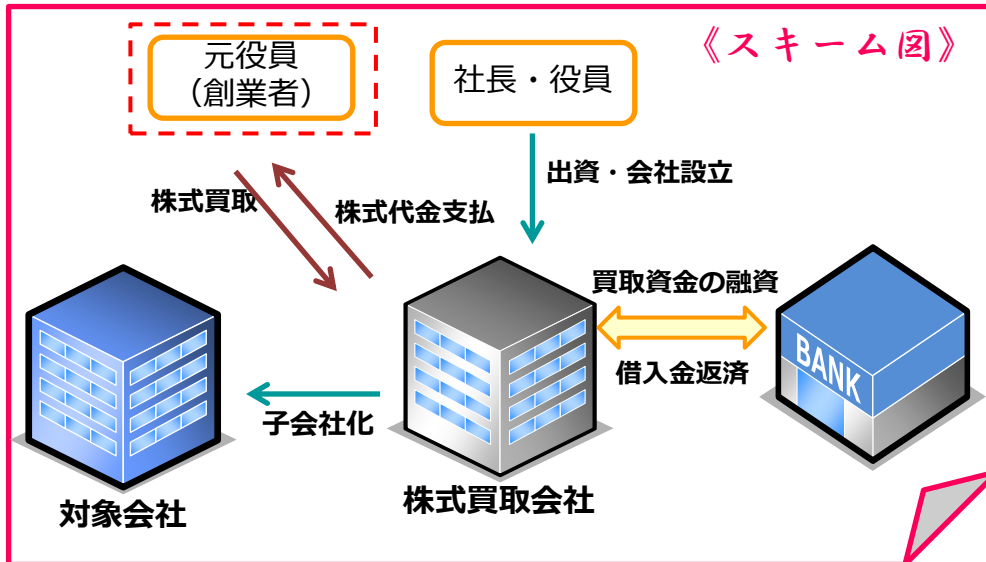
社長の悩み

- ・創業者である元役員から株の買取要請。
- ・株の買取意思はあるものの、買取資金の調達や返済のことを考えると・・・
- ・会社で取得するとしても資本を取り崩す必要が・・・
- ・事業承継を円滑にすすめたい。

創業者からの株式を取得するために別会社を作って株式を取得しませんか。

『株式買取会社設立による創業者からの株式取得スキーム』を提案





【当行の支援内容】

- スキームの検討
- 株式買取会社設立の支援
- 株式価値の算定
- 株式取得資金の融資

結果➤

- (社長が株式を取得した場合の) 社長個人の債務負担の回避
- (会社が株式を取得した場合の) 会社の資本取り崩しの回避
- 創業者との円満な解決(=円滑な事業承継)

本業支援のPoint

- ①お客さまの話を徹底的にお聴きする (アクティブリスニングの実施)
- ②事業ニーズに合った的確な提案
- ③当行 “内部”の戦略チームが解決

本業支援の更なる進化

👉 人材育成プログラム

(= 企業の人材育成を支援)

👉 “スピードアップ”

(= 3営業日以内の回答)

👉 事業性評価シートの活用

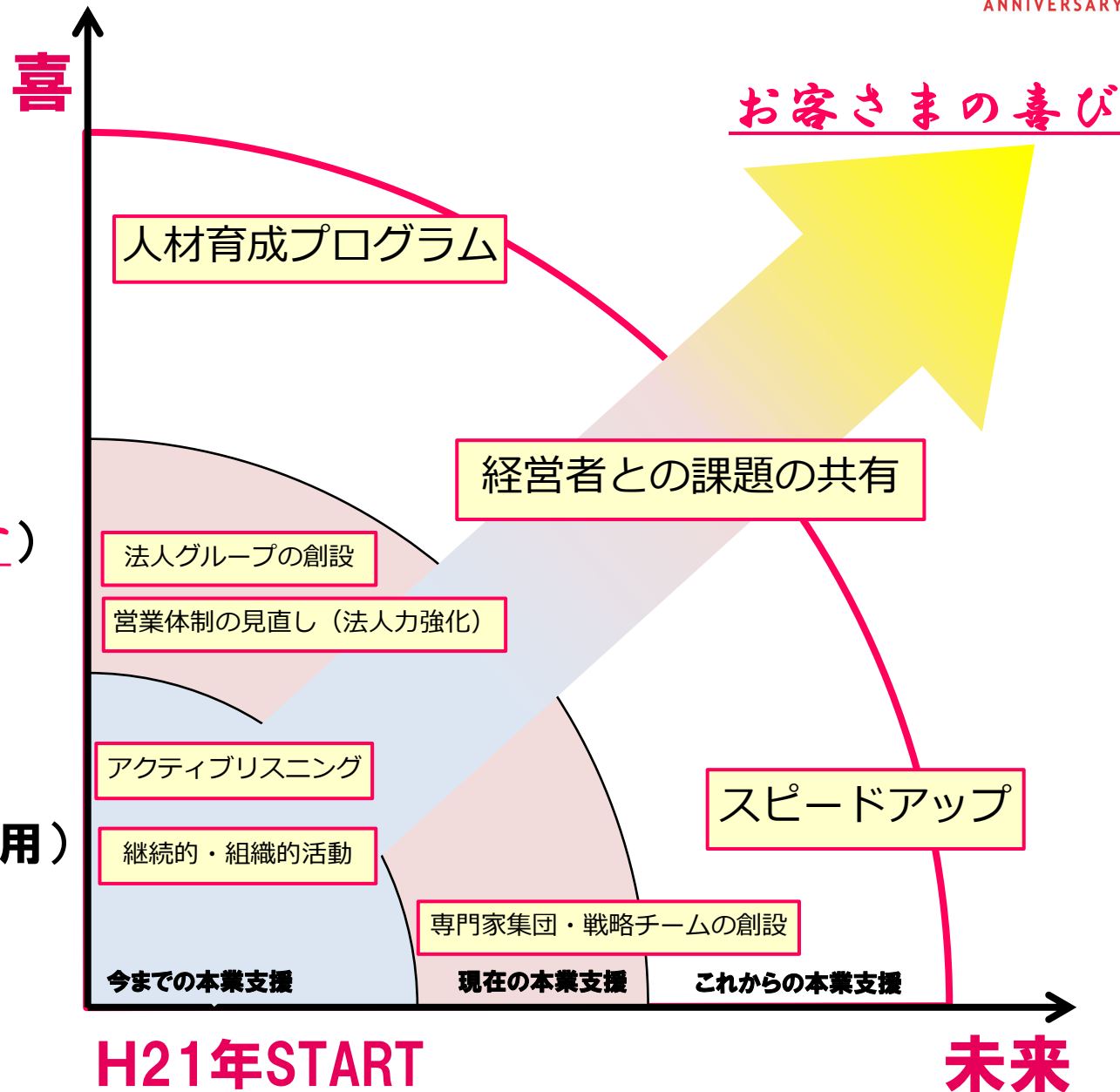
(= 経営者との課題の共有)

👉 「攻め」の本業支援

(= 事業ニーズの遂提案)

👉 行員のレベルアップ

(= スキル判定シートの活用)



きらやか“充年十色”計画とは・・・

きらやか銀行が来年5月に10周年を迎える
にあたり、充実した豊かな生活を過ごすための10の
テーマ（女性応援、産業応援、地方応援等）を定めました。
お客さまへの感謝の気持ちを込めて
お客さまに喜んでいただけるような様々な
商品やサービスを提供してまいります。

- “きらやかさん” による
山形応援シリーズ『石の上にも3年積立キャンペーン』
女性のための定期預金『うちからキレイ』『ぺっぴんさん』の開始
- 『笑顔の写真コンテスト』
（⇒お客さまの笑顔の写真をイメージ広告に採用）
- じもと創生商品『きらやか社会貢献私募債』の開始
- きらやか銀行初の新店舗出店（天童南支店）



10th ANNIVERSARY
きらやか銀行は来年5月
10周年をむかえます

じもと HOLDINGS

きらやか銀行

石の上にも**3年積立キャンペーン** 女性限定版
大人の余裕を手に入れたい!
コソコソ大作戦
2016 取扱期間
5/10[Tue] ▶ 9/30[Fri]

最近 A子って
キラキラしてない?
わかる!
なんでだろう?
あんなに
大人の余裕の
奥深さは!
羨ましいわ!
ウウウ...

キラ
キラ
A子

これは!!
きらやか銀行
コソコソ大作戦
ちょと見て!
コレが A子の
輝いてるヒミツ
かもしれない!

ヒミツ
ウフフ...

前はあんなに
地味だったのに...
ずるい!!
A子ちゃん
最近キレイに
なったわ!
何かあったの?

あ...
私は...
やさいい...
別...
いいです...

中音の A子

しっかりお金も
貯めることで
大人の余裕に
つながるのわ...
ウフフ♡

応援プレゼント(成約時)
自然素材にこだわったセット。
ハンドケア、スキンケアに!
**ハニー
スキンケアセット**
【セット内容】
ハチミツ配合ハンドクリーム20ml、ハチミツ配合ソープ1個

ご褒美プレゼント(満期時)
至福のスイーツ!
**ハーゲンダッツ
ミニカップ
ギフト券(2枚)**
※1枚でお好きなハーゲンダッツミニカップ2個とお引き換え可能です。
※預入金額が30,000円以上の方が対象となります。

女性専用の特典はこちら!

わたしも今すぐ**積立定期預金**
始めなまや!
三年後に貯まったお金で
友達と海外旅行とか!
あーでも
もし貯まらないうちに
親戚で結婚が決まると
ブライダルエラーとか!
今すぐ申し込もう!!
是げ!

きらやか銀行で
積立を始めると
今ならプレゼントが
もらえるんですって!
始めるしかないわ!

3. じもとホールディングスの取組みについて

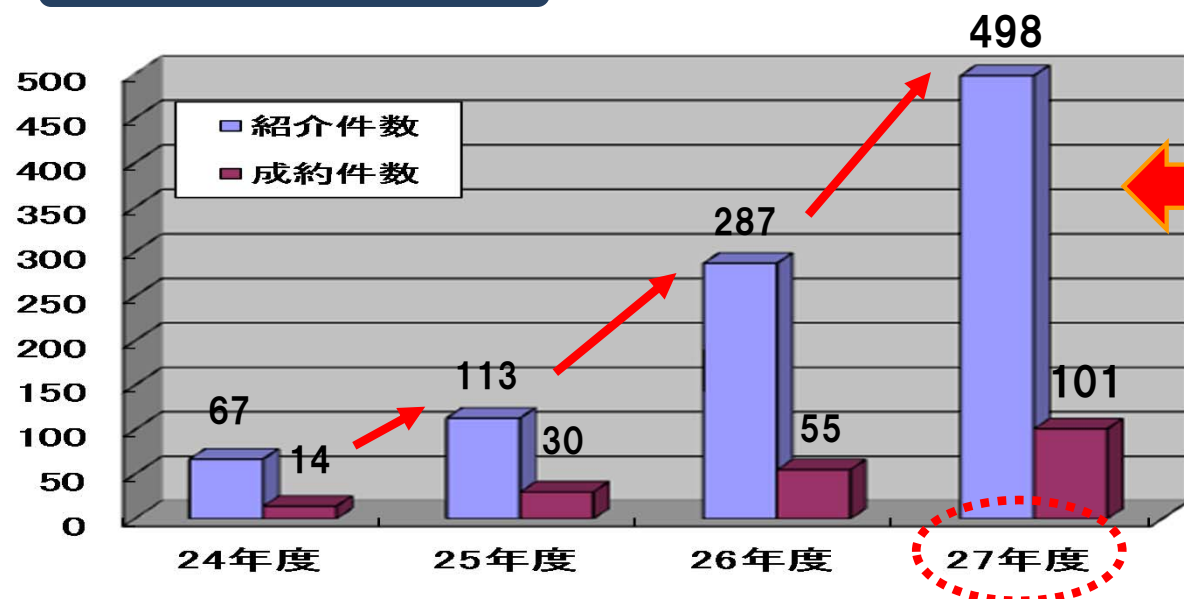
じもとグループは「**本気の本業支援**」で**宮城と山形を強力につなぐ**ことにより、他行の追随を許さない金融グループを目指します！

1. 本気の本業支援(本業支援の進化・発展)

組織的な本業支援の更なる強化

県境を越えた情報の集約と提供

ビジネスマッチングの実績



昨年度比で紹介件数1.7倍
成約件数1.8倍と大幅に
増加いたしました！

平成27年度 実績	ビジネスマッチング		
	合計	うち「宮城と山形をつなぐ運動」実績	うち商談会等実績
紹介件数 (うち成約件数)	498 (101)	197 (46)	301 (55)

※「宮城と山形をつなぐ運動」⇒両行を跨いだビジネスマッチング

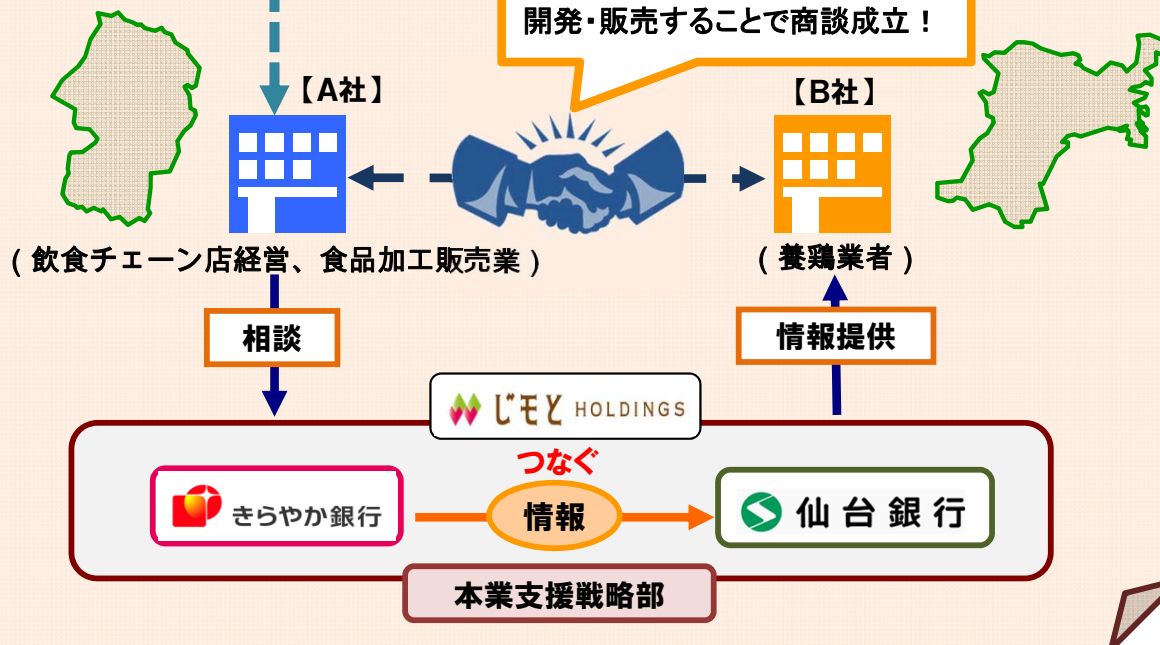
主な商談会の内訳

商談会の名称	開催回数	面談件数	うち成約件数
地方創生ミニ商談会(山形)	5回	100件	36件
伊達な商談会(宮城)	12回	76件	5件
地方創生『食の魅力』発見商談会2015(東京)	1回	41件	1件
他銀行と連携した商談会(愛知銀行、栃木銀行)	2回	61件	3件
その他(個別商談等)	—	23件	10件
合 計	20回	301件	55件

本業支援具体的事例 ～宮城と山形をつなぐ取組み～

情報 宮城県への販路拡大を希望

B社が飼育する軍鶏の肉を使い、
A社の協力のもと共同で新商品を
開発・販売することで商談成立！



ビジネスマッチングをきっかけに、両社とじもとグループの取引はますます深いものに！

- ① 新たな商流の形成⇒B社生産の卵をA社に継続的に納品
- ② 新商品の開発⇒A社における、B社の「採卵後の親鳥」の有効活用
- ③ 鶏がらの実用化⇒B社から出る鶏がらの活用方法についてA社にて研究
- ④ 本業支援戦略部が補助金申請をサポート ⇒A社が急速冷凍機を導入

最大の特徴

業者情報の紹介依頼を受けてから、

- ◆ 翌日には、取引先の業者を紹介
- ◆ 半月後には、商談が成立
- ◆ 1ヶ月後には、両社の取引が開始

他行にはない圧倒的なスピード対応

じもとグループにしかできない
本業支援

- 両行が保有する広域かつ豊富な情報量
- 両行が連携することによる事業ニーズに対するスピーディーな対応
- 専門家集団の活用による的確かつ高度な提案

じもとグループは金利（価格）競争に巻き込まれない
理想的な金融グループを目指します！

2. 本気の統合効果発揮(経営の合理化・効率化)

業務運営の統一

システムの統一

平成27年5月 両行の基幹系システムを統一
平成27年9月 サブシステム統一に向けた方針決定

総数81のサブシステム
⇒24の統一が完了

本部業務のバックオフィス統合を検討
⇒業務場所統一、機能集約

企業価値向上

年間5億円+αの統合効果想定

合理化

保守・管理費

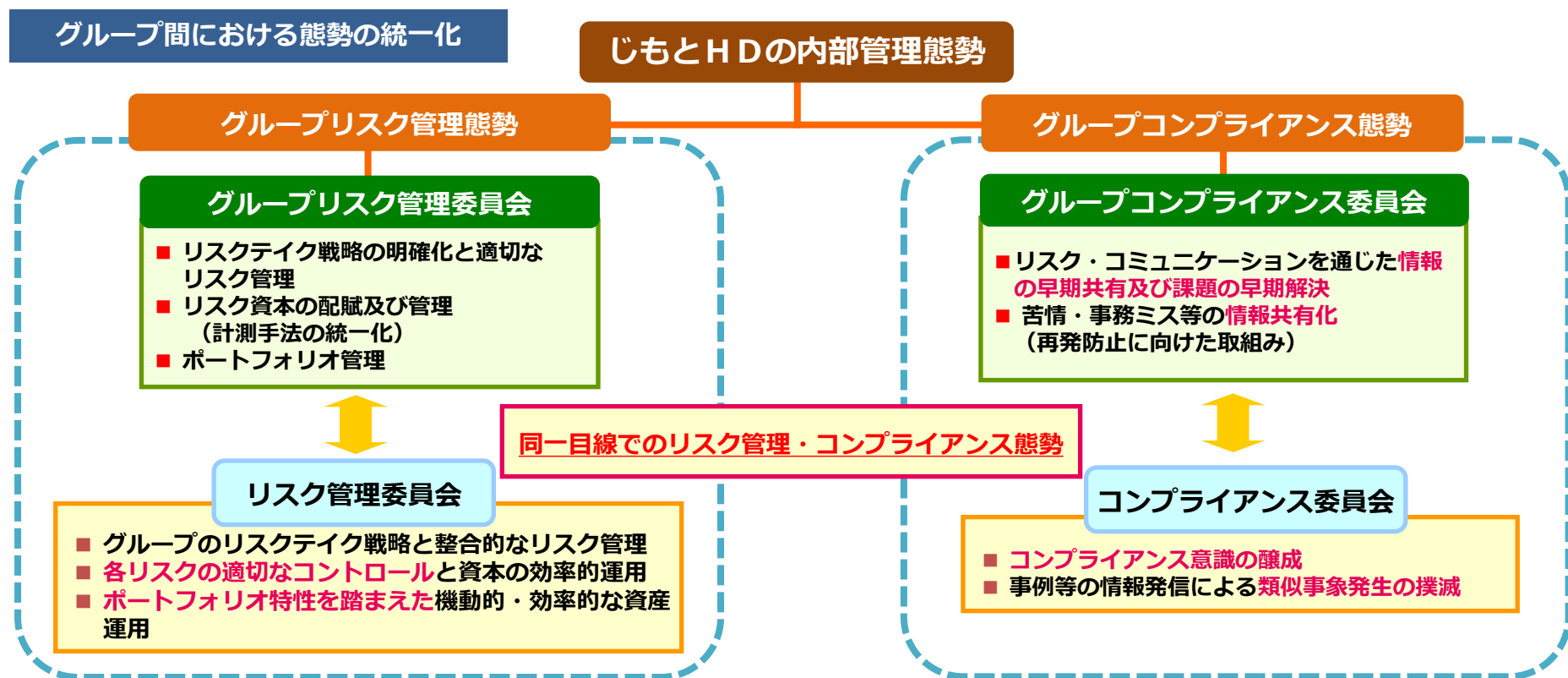
導入費用

営業力強化

人員創出

時間創出

④ じもとホールディングスの内部管理態勢



リスクアセスメント態勢の構築と機動的な対応

1. リスクアセスメント態勢の構築

- ◆ リスクアセスメント態勢の構築により、グループ態勢上の弱点、問題点等の把握・改善を通じ、業務運営態勢の健全性・適切性を確保する。

2. リスク管理態勢の強化

- ◆ リスク顕在化事象の早期把握と早期のアラーム発信
- ◆ リスク・プロファイル分析およびリスク・リターン分析の強化
- ◆ 個別リスクにかかるリスク管理態勢の整備

「金融環境の変化に機動的に対応することができる内部管理態勢」の一層の強化に取り組む



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp>